

# 研究実施のお知らせ

2022年4月9日 ver.1.0

2025年1月30日 ver.2.0

## 研究課題名

睡眠時無呼吸症候群診断結果と視神経乳頭形状の関連

## 研究の対象となる方

2019年7月から2022年3月の間にのむらニューロスリープクリニックを受診し睡眠時無呼吸症候群の検査および眼底写真撮影をされた方

## 研究の目的・意義

緑内障は眼底にある視神経乳頭に特徴的な形態の変化を来たす疾患で、進行により視野欠損や視力低下の原因となります。睡眠時無呼吸症候群が緑内障発症の危険因子である事が種々の研究により報告されていますが、睡眠時無呼吸症候群の程度と視神経乳頭形状の関連について検討した報告は多くありません。本研究では、睡眠時無呼吸症候群の検査結果と視神経乳頭の測定結果の間の関連を統計学的手法を用いて検討します。

本研究により睡眠時無呼吸症候群の程度と緑内障性変化の関連が明らかとなった場合、緑内障患者さんに対して積極的に睡眠時無呼吸症候群の診断・治療を勧めることの根拠となります。

## 研究の方法

対象となる患者さんの電子カルテから年齢、性、左右眼、睡眠時無呼吸症候群検査結果(AHI, ODI, 最低酸素飽和度)、眼底写真判定結果、全身及び眼科の既往歴、血圧、脈拍、身長、体重、血液検査結果、尿検査結果、食塩摂取量、頭部CT検査結果を調査します。

データはエクセルのデータシートに記載して集計します。収集されたデータは、データシートのファイルにパスワードを設定した上で、電子メールで研究責任者に送付されます。全てのデータは名前とカルテ番号を削除して扱います。収集したデータは、島根大学医学部眼科学講座内の外部から容易にアクセスできないPCに保管します。PCにはセキュリティを設定し、パスワードで使用可能な研究者を制限します。

研究に関するデータ及び関連資料(研究に関する手続き資料を含む)は、研究結果の最終報告を行ってから10年間保管し、その後消去します。

研究の結果は、眼科関連の学術誌および学会で公表します。

本研究に関する利益相反は、島根大学医学部等臨床研究利益相反マネジメント委員会が管理します。

### 研究の期間

2022年5月13日～2030年4月

### 研究の公表

この研究から得られた結果は、医学関係の学会や医学雑誌などで公表します。

### 研究組織

この研究は次の機関が共同で行います。

研究代表者（研究で利用する情報の管理責任者）：

島根大学医学部附属病院眼科 教授・谷戸正樹

既存の情報の提供のみを行う機関

[提供機関]

のむらニューロスリープクリニック

[提供担当者]

院長・野村哲志

### 情報の利用停止

ご自身の情報をこの研究に利用してほしくない場合には、ご本人または代理人の方からお申し出いただければ利用を停止することができます。

利用停止のお申し出は、いつでも可能です。ただし、結果の公表を行った後は、情報を削除することができず、ご要望に沿えません。

### 相談・連絡先

この研究について、詳しいことをお知りになりたい方、ご自身の情報を研究に利用してほしくない方、その他ご質問のある方は次の担当者にご連絡ください。

研究責任者：

島根大学医学部眼科学講座・教授 谷戸正樹

〒693-8501 島根県出雲市塩冶町 89-1

電話 0853-20-2284

既存の情報の提供のみを行う機関の提供担当者

のむらニューロスリープクリニック・院長 野村哲志

〒683-0846 鳥取県米子市安倍 813-1  
電話 0859-46-0062